

近い将来、発生が予想される東南海・南海地震等の大規模地震に備え、木造住宅の耐震診断を受ける方に対し、その費用の一部を補助します。

対象となる住宅

- ①昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅(在来軸組み工法の戸建ての住宅)
- ②階数が2階以下で、延床面積が500㎡以下のもの
- ③併用住宅の場合は、延床面積の半分以上が住宅の用途に供されているもの。ただし、専用住宅のうち、共同住宅および長屋住宅は対象外

補助対象者

対象となる住宅の所有者

補助金の額

補助対象経費の3分の2以内、限度額2万円

受付戸数

10戸(先着順)



●アスベスト含有調査の補助

アスベストによる健康被害が社会問題化している中、鬼北町では、今年度から新しくアスベスト含有調査をする際に、その費用の一部を補助する制度を設けました。

補助対象者

アスベスト含有調査を行う建物の所有者

補助金の額

補助対象経費の額、

限度額1棟につき25万円

受付件数

1件(先着順)

受付期間(耐震・アスベスト共)

9月27日(月)～11月26日(金)
(土日、祝祭日を除く)

申し込み等

どちらの補助も申請書は役場建設課にてお渡しします。

また申請に必要な添付書類や制度の詳細についても建設課に問い合わせください。

問い合わせ

役場 建設課 都市計画・管理係
☎ 45・1111 内線242

薬と健康の週間

10月17日(日)から23日(土)は「薬と健康の週間」です。

お薬を使用する際は次のようなことに注意し、より安全に効果的に使用してください。

使用する前に薬の添付文書(能書)をよく読みましょう

添付文書には用法・用量、効能・

効果のほか、使用上の注意、副作用などについて書いてあります。必ずよく読んでから使用し、読んだ後も大切に保管しておきましょう。

用法・用量を守りましょう

薬の作用は、使用量と深い関係がありますので、自分の判断で使用量や回数を増減してはいけません。たくさん飲めばよく効く、速く効くというわけではなく、決められた量以上に用いると体に好ましくない反応(副作用)が出る場合があります。また、決められた薬の服用時間を守りましょう。

【薬の服用時間】

- ▼食前 食事のおよそ30分前
- ▼食後 食事のおよそ30分後
- ▼食間 食事と食事の間(食事のおよそ2時間後)

▼頓服 痛み、熱など、症状がある時

薬の形(剤形)にあった服用方法を守りましょう

▼錠剤、カプセル剤
コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。

▼液剤

薬の成分を均等にするために、よく振ってから飲んでください。

1回量は計量カップなどに移してから飲んでください。

薬の飲み合わせ(相互作用)に注意しましょう

複数の薬の飲み合わせによって、作用が強くなり、効き方が弱くなったりすることがありますので、医師や薬剤師に相談してください。

高齢者の薬の使用には特に注意しましょう

高齢者は様々な病気にかかっていることが多いので、複数の薬を併用する機会が増えます。また、加齢によって、身体機能が低下するため、薬が強く効き過ぎて副作用が起こりやすくなります。体調の変化を感じた場合は、自分で判断せず、医師や薬剤師に伝えて判断を仰ぐようにしてください。

薬は正しく保管しましょう

子どもの誤飲事故を防ぐために、子どもの手の届かないところに保管しましょう。また、薬は湿気、光、熱などに弱いので、直射日光のあたらない涼しい場所で保管しましょう。容器の詰替えは、内容や使い方が分からなくなり誤用や事故のもとになるのでやめましょう。